

放課後等デイサービス評価表（事業所向け）

評価時期: 令和6年2月1日～令和6年12月31日

		チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	ご意見
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	はい	いいえ	どちらとも いえない	今のスペースを維持する為、日々の清掃・整理整頓に努めます。
	2	職員の配置数は適切であるか	はい	いいえ	どちらとも いえない	法令で必要とされている以上の職員を配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	はい	いいえ	どちらとも いえない	2Fへの階段がありますが、各フロアはバリアフリーに配慮して設計されています。 目的別スペース(個別課題、自由活動・集団活動、食事等)と確保しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	はい	いいえ	どちらとも いえない	目標設定と振り返りは、職員内合わせやケース会議を開き、職員全員で協議・検討しています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	はい	いいえ	どちらとも いえない	保護者等向けの評価表の結果を基に、業務改善に努めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	はい	いいえ	どちらとも いえない	ホームページで公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	はい	いいえ	どちらとも いえない	法人として苦情解決第三者委員を設置しています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	はい	いいえ	どちらとも いえない	法人内部、法人外部の各種研修に積極的に参加しています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	はい	いいえ	どちらとも いえない	体験・面談を行い適切にアセスメントをとる事で児童や保護者のニーズを把握し、学校・相談支援事業所等関係機関と連携を図り、放課後等デイサービス計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	はい	いいえ	どちらとも いえない	法人内で統一したアセスメントシートを使用しています。

適切な支援の提供	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	はい	いいえ	どちらとも いえない	職員が個々に意見を出し合い、共通した支援目標を持って立案しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	はい	いいえ	どちらとも いえない	プログラムが固定化しないよう、担当職員を変えて季節や子どもの興味・関心・発達に合わせた活動プログラムを工夫し行っています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	はい	いいえ	どちらとも いえない	平日の課題に加えて、長期休みに入る前は様々な行事や体験プログラムを計画し支援を行っています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	はい	いいえ	どちらとも いえない	個別課題、集団活動、自由活動を組み合わせて計画を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	はい	いいえ	どちらとも いえない	毎日ミーティングを行い、支援内容や役割分担について確認しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	はい	いいえ	どちらとも いえない	支援終了後に職員間で話しをし、翌日のミーティングでも情報共有を行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	はい	いいえ	どちらとも いえない	担当した職員が児童一人一人の様子や支援内容を記録し、振り返りを行い、支援の検討・改善に繋げています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	はい	いいえ	どちらとも いえない	6ヶ月ごとにモニタリングを行い、個別支援計画の見直しを行っています。必要があれば、6ヶ月を待たずに見直しを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	はい	いいえ	どちらとも いえない	基本的日常生活動作や、自立生活の支援・創作活動等を組み合わせた支援を行っています。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	はい	いいえ	どちらとも いえない	担当者会議は、主に児童発達管理責任者が参加し、状況に応じて管理者・担当職員も参加しています。

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	はい	いいえ	どちらとも いえない	学校主催で行われる連絡会へ参加をし、行事予定で下校時刻を確認しています。トラブル発生時には学校から連絡も入ります。また、年間計画、行事予定、下校時刻、緊急連絡メール等のお知らせをいただき、情報を共有しています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	はい	いいえ	どちらとも いえない	現在ケアが必要な児童の御利用はありません。服薬している児童については、保護者より変更等あれば連絡をいただいています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	はい	いいえ	どちらとも いえない	必要があれば訪問し、情報共有に努めています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	はい	いいえ	どちらとも いえない	移行する障害福祉サービス事業所へ、保護者の承諾を得てから情報提供を行っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	はい	いいえ	どちらとも いえない	研修等に参加しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	はい	いいえ	どちらとも いえない	施設外活動の際に、障害のない子どもと関わる機会があります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	はい	いいえ	どちらとも いえない	要請があれば参加したいと思います。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	はい	いいえ	どちらとも いえない	日頃から連絡帳や電話で保護者とのやり取りを行っています。必要に応じて面談を行い、保護者との共通理解を持つよう努めています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	はい	いいえ	どちらとも いえない	ペアレントトレーニングの研修終了者が、面談や電話で相談を受けた時に、情報の提供や児童との関わり方についてお話しています。
保護者への説明	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	はい	いいえ	どちらとも いえない	運営規定、支援の内容、利用者負担等については、契約時丁寧な説明を心掛けています。また不明な点は随時説明しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	はい	いいえ	どちらとも いえない	個別面談時や日々の電話でのやりとり等、適宜相談に応じています。

明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	はい	いいえ	どちらとも いえない	社会福祉法人樹の実会保護者の方による後援である「樹の実後援会 賛助会員」にお誘いをしています。事業所内で年度末に行っています保護者説明会へのご出席を増やして行くことが今後の課題となってきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	はい	いいえ	どちらとも いえない	苦情受付担当者、第三者苦情解決委員を設置しています。契約時保護者の方へお伝えし、苦情が出された場合は迅速に対応するよう体制を整えています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	はい	いいえ	どちらとも いえない	事業所独自の会報は今現在発行しておりませんが、後援会発行の会報は年1回発行しております。また、イベントを行った時には連絡帳に添付する形でレターを発行しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	はい	いいえ	どちらとも いえない	日頃から事業所運営、個人情報の取り扱いには留意しています。個人情報が記載された書類は鍵付のキャビネットに保管し、個人情報にアクセスできる端末にはパスワードを設定しています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	はい	いいえ	どちらとも いえない	児童の障害や保護者の状況に応じて、口頭・電話・連絡帳で意思の疎通を図り、情報伝達しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	はい	いいえ	どちらとも いえない	地域の方々と交流出来る「樹の実の郷大宮秋祭り」が今年度も開催見送りとなりました。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	はい	いいえ	どちらとも いえない	緊急時対応マニュアル・防犯マニュアル・感染症対応マニュアルは契約時に説明しています。各マニュアルは事業所内に掲示し、職員に周知しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	はい	いいえ	どちらとも いえない	法人で年2回消防署立会の総合訓練を実施しています。事業所内でも「防災頭巾のかぶり方」などを練習しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	はい	いいえ	どちらとも いえない	虐待防止・権利擁護の研修を受講し、受講した職員が伝達研修を行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	はい	いいえ	どちらとも いえない	身体拘束について事業所内研修を行い、職員間で共通認識を持つようにしています。個別支援計画に記載し、保護者へ説明しています。

42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	はい	いいえ	どちらとも いえない	アレルギー調査表を配布し確認しています。現在は該当の方が在籍されておりません。利用がある場合は、適宜医師の指示書を提出頂きます。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	はい	いいえ	どちらとも いえない	千葉市の事故報告書をフォーマットとし、事例集を作成し、その都度職員間で情報を共有し、再発防止に努めています。